

# 地球の雫：歌メロ

♩=140

津久場 郷史



みどりのかぜに みみをすまして



はじまりのうた きこえてくる -



たえることなく めぐりつづける



ぼくらのほしが つむぐメロディー



ちいさな ながれは やがて



ぼくらの ゆめのせ はしる かける おどる



うみをめざして - - てとてを つない



で まもり た いものがある いま



ここから あしたへ つなげようてを



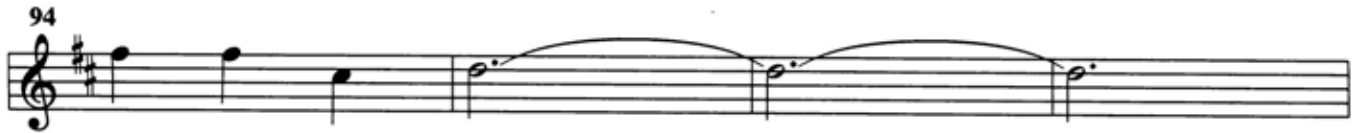
つないで つたえた いことがある い



ま ここから みらいへとどけようひ



とつ のしずくが このほしをつくる



つ り か わ ー ー

地球（ほし）の雫

詞 津久場郷史

緑の風に耳を澄まして

始まりの歌 聴こえてくる

絶えることなく巡り続ける

僕らの地球（ほし）が紡ぐメロディー

小さな流れはやがて 僕らの夢のせ

走る 駆ける 踊る 海を目指して

手と手をつないで守りたいものがある

今ここから明日へ繋げよう

手をつないで伝えたい事がある

今ここから未来へ届けよう

一つの雫がこの地球（ほし）をつくる 釣川